

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.08.13～08.24

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

※記事は東京発行・最終版

CHINA

8月13日(月)

大和ハウス、フジタ買収

中国・ベトナムで事業拡大

大和ハウス工業は、中堅ゼネコンのフジタを米ゴールドマン・サックス系投資会社から500億円で買収する。海外事業を強化。中国やベトナムで実績のあるフジタの信用力を活用する。(10面)

良品計画、中国で直納体制

中国2センター本格稼働

良品計画は、国際的な物流体制を9月に再編する。中国の華南と上海にあるセンターを本格稼働させる。現地で生産した製品を日本を経由せずに直接納入する体制を構築する。(10面)

8月14日(火)

鉄鋼、中国に神経とがらす

秋口の動向、世界戦略の試金石

鉄鋼大手が、秋口の中国の動向を凝視している。2011年実績で世界粗鋼生産の45%を占める中国。過剰感が強まった中国で鉄鋼メーカー群の生産にブレーキが、それとも需給の適正化か。(7面)

8月15日(水)

疼痛の治療薬、中国企業に譲渡

モーセイグループ

モーセイグループは、豪ニューロディスカバリーと共同開発してきた神経障害性疼痛の治療薬「SD118」を、日本を除く全世界を対象とした事業権を中国の北京泰徳製薬に譲渡する。(7面)

8月16日(木)

中国の販売拠点10カ所以上

日本トムソン／韓国は市場調査強化

日本トムソンは、現在8カ所ある中国の販売拠点を2013年3月期以降に10カ所以上に拡大する。韓国では市場調査と販売力と強化するため、代理店の事務所に



社員の駐在も計画している。(5面)

森ビル、クール・ジャパンPR

アニメや原宿／上海・台湾

森ビルは、上海、台湾で日本文化を発信する「クール・ジャパン」事業を始める。アニメや原宿ファッションなどのPRを通じて、訪日外国人(インバウンド)を拡大。経済産業省から受託。(9面)

8月17日(金)

対中投資、7月8.7%減

日本の対中投資19.1%増

中国商務省は、7月の中国への直接投資額は8.7%減の75億8000万ドルと、2カ月連続でマイナスを記録。うち日本の対中投資は19.1%増の47億3000万ドル。円高で日本企業の対中投資が拡大。(3面)

東急百貨店、武漢で運営

2014年冬開業／ノウハウ提供

東急百貨店は、武漢市で不動産開発のニュービーコン企業グループと提携し、現地で百貨店を運営。2014年冬開業の商業施設の企画、管理、テナントのリーシングなどノウハウを提供する。(9面)

上海証取、増配を促進

信頼回復策へ新施策

上海証券取引所は、低迷が続く相場へ

の信頼回復策として、上場企業に増配を促す新たな措置。配当金総額が、株主に帰属する利益の30%未満だった企業はその情報を開示を義務付け。(時事＝11面)

8月20日(月)

中国とグリーン物流網

樹脂製パレットに変更／経産省

経済産業省が、中国政府に対し、物品を積載・荷役するパレットで、木製を変更し、複数回利用できる樹脂製にすることを働きかけている。環境負荷が小さいグリーン物流網を構築する。(2面)

ヘルニア手術材料を開拓

昭和医科工業

昭和医科工業は、中国と南米で椎間板ヘルニアなどの手術で骨の結合に用いる脊椎固定材料の市場を開拓する。中国は2013年に市場投入する。両地域は経済成長とともに医療市場が拡大。(10面)

Jパワーの石炭火力営業運転

100万kW／2号機は11月

Jパワーが、三井物産、日本政策投資銀行と共同出資した中国の火力発電所が営業運転を始めた。出力100万kWの1号機で、高効率の超々臨界石炭火力。2号

機(100万kW)も11月運転。(13面)

8月21日(火)

対中貿易、最大の赤字

上期176億ドル／鉄鋼・建機伸びず

1 6月期の日中貿易収支は、日本側が176億ドルの貿易赤字だった。上期ベースで最大。中国からスマートフォン輸入が急増。日本から鉄鋼製品や建機伸び悩んだ。ジェットロがまとめた。(3面)

CKD、中国に生産移管

3次元ハンダ印刷検査機

CKDは、中国工場で3次元ハンダ印刷検査機の生産を始めた。愛知県の本社工場から移管。初年度100台を生産する。日系や台湾、欧米など電子部品関連メーカーが進出、受注が増加。(7面)

新日鉄化学、タイヤ原料製造

電炉用電極材料も／製販子会社

新日鉄化学は、江蘇省で電炉用電極材料のニードルコークス(年6万トン)と自動車用タイヤの原料となるカーボンブラック(年5万トン)の製造販売子会社を設立する。(11面)

キヤノンMJ、医療機器投入

中国・欧米／全自動分包機・滅菌機

キヤノンマーケティングジャパンは、医療機器販売で海外に進出する。北米や欧州、中国などの新興国で滅菌機、全自動分包機、自動血圧計・体脂肪計を2013年をめどに投入していく。(13面)

8月22日(水)

ニッパツ、特殊鋼の現調強化

パネ製品の原料／中・韓・印

ニッパツは、自動車用パネ製品の原料を現地調達するため、中国や韓国、インドの特殊鋼メーカーなどと協力体制を構築する。選定した現地メーカーと特殊鋼の品質改善、原料を現地調達。(5面)

旭産業、大連に新工場

NC旋盤用の制御盤／月100台

旭産業は、大連市にNC旋盤用制御盤を作る新工場を設立する。月産能力100台程度。11月稼働。現地に進出した日系工作機械メーカーの要請によるもの。現

8月22日(水)

岐阜精機、タイで樹脂用金型

東南ア・インドにも供給

岐阜精機工業は、ダイカスト用金型を生産するタイ工場で樹脂用金型を10月から生産する。MCを日本から移設。金型はタイだけでなく、他の東南アジア諸国やインドにも供給する。(7面)

東海ゴム、タイに新工場

ゴム製部品／日系OA機器向け

東海ゴム工業は、タイ・ラヨーン県にOA機器用ゴム部品の工場を建設する。2014年2月稼働。日系OA機器工場にプリンターなどの紙送りローラーと、紙の汚れを取るブレードを供給。(8面)

ADEKA、韓国で増産

半導体用先端材料／スマホ向け3倍

ADEKAは、半導体用途向けなどの先端材料を増産する。10月に韓国の子会社でスマートフォン向けの微細半導体メモリ用高誘電材料の生産能力を約3倍に拡大、生産を日本から移管。(10面)

大田精工、東南ア拠点を再編

日系以外の新規顧客開拓

大田精工は、東南アジアの拠点を再編する。マレーシアの生産の一部をタイに移す。東南アジアや中国で日系以外の新規顧客開拓を加速する。語学が堪能な現地スタッフを雇う。(21面)

8月23日(木)

台湾に特殊紙の合併

特種東海製紙／相手先にも出資

特種東海製紙は、台湾で特殊機能紙の合併会社を2013年に設立する。業務提携を結ぶ中日特種紙廠股份有限公司との合併で、資本金は10億円程度。9月末までに中日特種紙に10%程度出資。(1面)

三菱重工業、東南ア重点

射出成形機／中国の代理店2倍

三菱重工プラスチックテクノロジーは、ベトナムとインドネシア、メキシコで射出成形機のサービス体制を拡充するとともに、中国で2013年にも販売代理店を現在の2倍の4社にする。(1面)

双日、ベトナム火力発電受注

280億円／韓国社と共同

双日は、韓国・大林産業と共同で、ベトナム電力公社からベトナム南部のカントー市の「オモン第1火力発電所2号機」プロジェクトを約280億円で受注した。発電容量は30万kW。(3面)

シンガポールでビル開発

三井物産／ビジネスパーク

三井物産は、シンガポール政府系の大手不動産開発会社・アセンダスと、シンガポールのワンノース地区で開発が進む

地生産でコスト競争力。(6面)

8月23日(木)

レアアース輸出2.7%増

3万996トン／国際情勢に配慮

中国商務省は、2012年のレアアース(希土類)輸出枠を前年比2.7%増の3万996トンに設定した。輸出枠を増やした背景には、国際的な批判への配慮があるとみられる。(時事＝3面)

中国向け高速医薬品包装機

CKD／機能絞り低価格化

CKDは、中国市場向け高速医薬品包装機を2013年4月に発売する。包装能力を落とさず機能を絞った。価格は約3割減の1億円。包装能力は最大で毎分600シート。(11面)

8月24日(金)

アイシンAW、現調70%

4速AT／中国新工場コスト減

アイシンAWは、2013年に稼働する中国の自動変速機(AT)新工場での部品の現地調達を70%に設定した。同社の海外工場で最も高水準となる。4速ATのコスト競争力を高める。(1面)

ニッケ、中国・タイで直販体制

タイで新工場建設へ

ニッケは、中国とタイで子会社を通じ産業資材を直接販売する。現在は代理店経由。中国は工業用バグフィルター、タイは自動車用エアバッグの縫製系など。タイは新工場建設も視野に。(1面)

標的型メール、上期552件

中国36%で最多

防衛や情報通信関連の民間企業などに送り付けられた標的型メールが2012年16月は552件に上った。中国が36%で最多。成り済ますため、感染に気づくのが遅れる。警察庁まとめ。(2面)

中国・タイで生産拡大

アルプスツール／工具類など

アルプスツールは、中国とタイで工作機械周辺機器とツール(工具類)の生産体制を増強する。ツールの大連工場でフィーダーも生産。フィーダー工場のタイに新工場を建設、ツールも生産。(6面)

ビジネスパークでのビル開発事業に日系企業として初めて参画する。(3面)

テクノ技研、大型研削盤受注

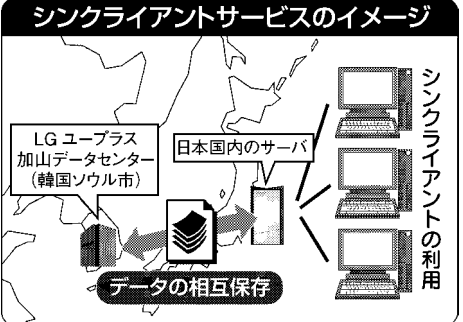
韓国・光星テックから

テクノ技研は、最大長さ6mのローラーを加工できる大型円筒研削盤を韓国の光星テックから受注した。光星は現地製会社向けにローラー需要が増えたため、同研削盤を導入する。(7面)

インフィニティ、韓国DC活用

シンクライアント導入支援

インフィニティは、韓国LGグループの通信会社と共同で、韓国のDCを活用したシンクライアント導入支援サービスを始める。日韓双方のサーバにデータを保存できるサービスを提供。(9面)



日本磁力選鉱、レアメタル回収

パソコン・白物の基板リサイクル

日本磁力選鉱は、今秋をめどにインドで廃棄されたパソコンと白物家電の基板リサイクル業務を始める。現地リサイクル企業を通じ、月10トン程度を輸入してレアメタルを回収する。(10面)

8月24日(金)

タイで樹脂コンパウンド3製品

ユニチカ／合計年2000トン

ユニチカは、2013年からタイでバイオマス由来の耐熱ポリアミド樹脂を含む高機能性樹脂コンパウンド3製品の生産を順次始める。生産能力を増強し2014年に合計で年2000トンの生産体制。(10面)

韓国で液晶駆動IC用メッキ液

TANAKA／納期短縮

TANAKAホールディングスは、液晶駆動IC用メッキ液を韓国で生産する。ノンシアン金メッキ液を韓国の喜星金属が生産・供給。現地化で納期を半分以上の5日間以下に短縮する。(10面)

TELOP

ベトナム2倍、新工場棟

朝日インテック(14日7面)

海上コンテナの位置情報一元化

国交省(15日2面)

原簿賠償制度整備の協力に合意

ベトナム／経産相(時事＝15日2面)

住商、印で特殊鋼2次加工

現地メーカーと合併(15日3面)

知財、中・韓と共同研究

日本知財学会／年内にテーマ

日本知財学会は、中国知識産権研究会、韓国産業財産権法学会と共同研究を始める。日中韓合計の国際特許出願はここ数年で欧米を上回る。共同の調査研究テーマを年内に固める。(19面)

TELOP

7月粗鋼生産2.5%増

6169万トン(時事＝14日7面)

中国子会社2000万円増資

アドバンテッジリスクマネ(15日3面)

香港でFX事業

GMOクリック証券(17日11面)

印刷インキ用樹脂を増産

荒川化学(20日10面)

三井住友銀行、重慶に支店

邦銀、市内唯一の支店(21日23面)

神鋼、蘇州工場が稼働

車用アルミ鍛造部品(23日10面)

アドバネクス、常州に新工場

精密パネ(24日6面)

交流サイト大手・人人網と連携

富士フイルム(24日8面)

ひと

伸びるビジネスだ



「中国の人たちに喜んでもらえる緑化ビジネスをやりたい。おのずと利益はついてくる」とトヨタサントリーモリエ上海園芸董事長の塩見良輔さん。洋酒事業で知り合った富裕層の人に再会。「環境こそ中国が求めている、伸びるビジネスだと言われた」。(14日＝9面)

速すぎた成長



「1989年からの中国の成長は速すぎた。この半分のスピードだったら、世界はハッピーだった」と、三井石油開発社長の日高光雄さん。「エネルギー、食糧、水問題など解決できていない。だから諸外国を挑発する」と中国通ならではの視点で関係を楽しむ。(22日＝11面)

ASIA

8月13日(月)

富士通テン、インドネシア新社

カーオーディオ／車用電子制御機器

富士通テンは、インドネシアに全額出資の製造子会社と、60%出資の合併版社を10月設立する。カーオーディオ関連製品とエンジンやエアバッグの制御に使う自動車用電子制御機器を製販。(6面)

8月14日(火)

シートベルト部品の新工場

カッツマファインテック／インドネシア

カッツマファインテックは、2014年をめどに、インドネシアにシートベルト部品の工場を稼働する。シートベルトの位置を調節・固定する樹脂製と金属製の部品などを年間約50万台分。(5面)

8月15日(水)

鳥インフル、ワクチン野外検証

インドネシア／生物資源研

生物資源研究所は、インドネシア・ボゴール農業大学と鳥インフルエンザワクチンの開発に関する覚書に調印。ワクチンと消毒剤を、ウイルス流行地であるインドネシアで野外検証する。(1面)

MRJ、ベトナムで提案

経産相／国営航空20機検討

ベトナムを訪問している枝野幸男経済産業相は、閣僚会談で小型ジェット旅客機「三菱リージョナルジェット」の導入を働きかける。国営のベトナム航空が約20機の導入を検討。(1面)

8月16日(木)

住友電工、FPC増産

アジア3工場に80億円投資

住友電気工業は、約80億円を投じ中国、フィリピン、ベトナムでフレキシブルプリント基板(FPC)の生産体制を9月までに増強する。スマートフォン向けの需要増に対応。(6面)

8月17日(金)

出光興産、ベトナムで潤滑油

2015年2万kl

出光興産は、ベトナムに潤滑油の製造販売子会社を設立した。2015年に同国内での販売量を年3000万klから2万klに伸ばし、売上高で3500万ドル(約2億7400万円)を目指す。(3面)

東京応化、韓国に合併

フォトレジスト／サムスン向け

東京応化工業は、韓国サムスン物産と韓国・仁川市にフォトレジストを製造販売する合併会社「TOK尖端材料」を設立する。サムスン電子がけん引する半導体市場に一層食い込む。(3面)

ディスコ、マレーシア拡張

加工検証施設を新設

ディスコは、マレーシアの事業所を拡張移転した。床面積は約3.8倍。半導体切断・研磨装置の販売、保守、技術サポートを手がけてきたが、加工検証施設を新設、顧客の課題に早期に対応。(6面)

インドネシアで2輪販売金融

丸紅／現地大手に経営参画

丸紅は、インドネシアのCTグループ傘下の大手2輪車販売金融会社のPTメガセントラルファイナンスの株式30%を取得、経営に参画する。将来はベトナムやフィリピンなどでも展開。(9面)

8月20日(月)

田淵電機、ベトナム生産性3倍

高周波トランス生産自動化

田淵電機は、ベトナム工場で高周波トランス生産の自動化に2013年3月末までに着手する。巻き線の自動化やマテハン機器の導入などを進めてコスト競争力を高め、生産性を3倍に。(1面)

スズキ、インド工場再開

新人事制度で再発防止

スズキのインド子会社が、閉鎖していたマネサル工場を21日に再開する。警察の協力などで安全確保。契約社員を正社員として雇う新人事システムも導入し、再発を防ぐ。(6面)

浜名湖電装、ベトナム工場増築

電装品／年産能力10倍

浜名湖電装は、ベトナム工場を年末に増築する。車載用コイルやセンサー部品などの電装品を生産。2015年に年産能力を10倍となる100億円分とする。日系メーカー向け。(6面)

シンガポールのプロ参画

NTTAT／微細加工技術

NTTアドバンステクノロジは、シンガポール科学技術研究庁材料工業研究所主催「ナノインプリント産業コンソーシアム」のプロジェクトに参画する。微細加工技術のノウハウを生かす。(9面)

マレーシアで天然ガスコジェネ

エネルギーアドバン스가調査

エネルギーアドバンスは、マレーシアで天然ガスコジェネレーションシステムを使ったエネルギーネットワークシステム構築に向け、事業化調査を今月中にも始める。(13面)

埼玉県、ハノイに相談窓口

専属担当者が直接対応

埼玉県は、東南アジアで展開する県内企業の相談窓口「埼玉県アセアンビジネスサポートデスク」をベトナム・ハノイ市に設置。現地で専属担当者が直接対応。企業の挑戦を後押し。(20面)

8月21日(火)

みずほFG、国境越え人事異動

現地採用の外国人

みずほFGは、海外の現地法人で採用した外国人を対象に、国をまたいで配置転換を行う人事制度を創設する。中国の現地法人にいる幹部従業員を東南アジアへなどの人事異動を実行。(1面)

ダットサン、現調90%

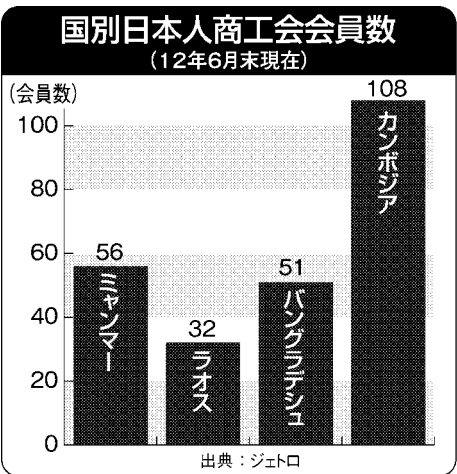
日産／各国で仕入れ先選定

日産自動車は、新興国専用「ダットサン」について、部品を現地調達90%で始動。現地生産・販売を予定するインドネシア、インド、ロシアで取引のあるサプライヤーを中心に選定する。(1面)

カンボジア進出企業が増加

港湾・工業団地整う

縫製などの労働集約型産業の生産拠点としてカンボジアに進出する日本企業が aumentando。港湾や工業団地などの製造業に不可欠なインフラが整う。投資相談窓口を一本化。(3面)



富士ゼロックス、ベトナム工場

デジタルカラー複合機など年